

安全データシート

{1. 化学品及び会社情報}

化学品名	オイルエース
会社名	郵政石鹼株式会社
住所	〒 731-5102 広島県広島市佐伯区五日市町石内 509-3
電話番号	082-928-0328
FAX 番号	082-928-1010
推薦用途及び使用上の制限	手に付いた油汚れやインク汚れなどの洗浄用 顔や身体の洗浄は不可

{2. 危険有害性の要約}

GHS 分類

物理化学的危険性	/ 分類基準に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	/
急性毒性（経皮）	/
急性毒性（吸入・蒸気）	/
皮膚腐食性・刺激性	/
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	/ 区分 2 B
皮膚感作性	/
呼吸器感作性	/
生殖細胞変異原性	/
発がん性	/
生殖毒性	/
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	/
特定標的臓器ばく露（反復ばく露）	/
吸引性呼吸器有害性	
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	/ 区分 3
水生環境有害性（長期間）	/
オゾン層への有害性	/

※ 上記で記載のない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHS ラベル要素	/ 絵表示又はシンボルはない
注意喚起語	/ 警告
危険有害性情報	/ 眼刺激・水生生物に有害
注意書き	
「予防策」	/ 取扱い後は洗剤分をよく洗い流すこと / 環境への放出を避けること

- {対応} / 眼に入った場合はこすらず水で数分間注意深く洗い流し、コンタクトレンズを使用して
いる場合は容易に外せる場合は外して洗浄を続け異常があれば医師の診断を受ける。
- {保管} / 乾燥しやすい場所や直射日光は避ける
- {廃棄} / 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託すること

{3. 組成、成分情報}

単一化学物質・混合物の区分 / 混合物

組成及び含有量

化学名又は一般名	含有量 (重量%)	CAS 番号	化審法官報公示整理番号	PRTR 法	安衛法通知対象物政令番号
研磨材	1.5 ~ 2.5	非公開	非公開	—	—
直鎖アルキルベンゼン スルホン酸	1.0 未満	27176 -87-0	68584-22 -5	第一種	—
ポリオキシアルキレン アルキルエーテル	1.0 未満	非公開	7-97	—	—
脂肪酸ジエタノール アミド	1.0 未満	非公開	非公開	—	—
防腐剤	微量	非公開	非公開	—	—
色素	微量	非公開	非公開	—	—
水分	残量	—	—	—	—

(一) は「該当しない」です。

{4. 応急措置}

- 吸入した場合 / 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休ませる
- 皮膚に付着した場合 / 水又は温水で洗い流し、皮膚刺激が生じた場合は医師の診断を受ける
- 眼に入った場合 / 目を擦らず直ちに清浄な水で15分以上注意深く洗いコンタクトレンズを着用して
いる場合は外せたら外し、洗浄を続け異常があれば医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 / 水で口の中を洗浄し、無理に吐かせず、コップ1~2杯の水か牛乳を飲ませ、直ちに
医師の診断を受ける。

{5. 火災時の措置}

- 消火剤 / この製品自体は燃焼しないが初期消火には粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる
大規模火災には、泡消火剤を用いる
- 使ってはいけない消火剤 / 情報なし
- 特有の危険有害性 / 情報なし
- 特有の消火方法 / 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用し、消火作業はできるだけ風上から行
う。
- 消火を行う者の保護 / 消火作業は適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用して作業すること

〔6. 漏出時の措置〕

人体に対する注意事項と / 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護メガネ、保護衣等を着用する
保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項 / 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないようにする
除去方法 / 飛散したものを掃き集めて、密閉出来る空容器に回収し、掃除機等、真空で吸
い取るなどして粉塵が飛散しない方法で取り除く
回収後の少量の残量分は土砂又はおがくず等に吸収させる

〔7. 取扱い及び保管上の注意〕

※ 取扱い

技術的対策 / 取扱いの都度容器を密閉し、眼、皮膚、衣類に付けたままにしないで
取扱い後はよく水で洗い流す
注意事項 / 段ボールを破損させないように注意する
安全取扱い注意事項 / 容器を転倒、落下させたり、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いを
してはならない

※ 保管

適切な保管条件 / 水濡れ、湿気、高温、直射日光を避け、密封し冷暗所に保管すること
安全な容器包装材料 / 開封した容器で再び保管する時は、密封をよく確かめ、他の容器に移し替え
て保管しないこと

〔8. ばく露防止及び保護措置〕

管理濃度 / 設定されていない
許容濃度 /
日本産業衛生学会 / 設定されていない
設備対策 / 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する

※ 保護具

呼吸器の保護具 / 粉塵を吸わないようマスク等をする
手の保護具 / 必要に応じて保護手袋をする
眼の保護具 / 必要に応じて保護メガネをする
皮膚及び身体の保護具 / 特に必要としない

〔9. 物理的及び化学的性質〕

外観 / 淡赤色粉末（一部塊状）
臭い / 原料臭
pH（原液） / 6.5～7
融点、初留点と沸騰範囲 / データなし
引火点 / 引火性なし

自然発火温度	/	データなし
燃焼性	/	データなし
燃焼又は爆発範囲 下限・上限	/	データなし
蒸気圧	/	データなし
蒸気密度	/	データなし
蒸気速度	/	データなし
比重 (25℃)	/	3 g/cm ³
溶解性	/	水溶性
n オクタノール/水分配係数	/	データなし
分解温度	/	データなし
粘度 (25℃)	/	該当しない

{10. 安定性及び反応性}

化学的安定性	/	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定
危険有害反応可能性	/	熱水や水分で溶解する。水溶液は強塩基で酸と反応し、アルミニウム、亜鉛に対して腐食性を示し水素を生成する危険がある。ハロゲンと反応し、火災の危険がある。

避けるべき条件	/	現在のところ情報なし
混触危険物質	/	酸、アルミニウム、亜鉛、ハロゲン類
危険有害な分解生成物	/	現在のところ情報なし

{11. 有害性情報}

急性毒性		
経口	/	データなし
経皮	/	データなし
吸入 (ガス)	/	GHS の定義における固体である
吸入 (蒸気)	/	データなし
吸入 (粉塵)	/	データなし

{皮膚腐食性/刺激性}	/	皮膚に付着したまま放置すると接触性皮膚炎の可能性があり強い刺激性と腐食性がある
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	/	強アルカリの為、眼に入った場合放置すると失明の恐れがある
呼吸器感作性又は皮膚感作性	/	現在のところ情報なし

生殖細胞変異原性	/	ポリオキシアルキレンアルキルエーテルが in vitro 試験（復帰突然変異試験、Ames 試験、染色体異常試験、不定期 DNA 試験）、in vivo 試験（マウス小核試験）ですべて陰性であることから[区分外]とした
発がん性	/	区分外
生殖毒性	/	生殖細胞変異原性と同じ理由で[分類できない]とした
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	/	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸は[区分 3]（気道刺激性）に分類されている 合計含有率が[区分 2]のカットオフ値(10%)未満であるので[分類できない]とした
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	/	（単回ばく露）と同じ理由で[分類できない]とした
吸引性呼吸器有害性	/	情報なし
〔12. 環境影響情報〕		
※ 生体毒性		
水生環境有害性（急性）	/	区分 2
水生環境有害性（慢性）	/	分類できない
オゾン層への有害性	/	情報なし
他への有害性情報	/	情報なし
〔13. 廃棄上の注意〕		
※ 残余廃棄物	/	内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者委託すること
※ 汚染容器及び包装	/	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に沿って適切な処分を行い、空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。
〔14. 輸送上の注意〕		
※ 国際規制		
国連分類	/	国連勧告の定義上の危険物に該当しない
国連番号	/	該当しない
※ 国内規制		
陸上輸送	/	消防法・労働安全衛生法などに定められている輸送方法に従う
海上輸送	/	船舶安全法に定められている輸送方法に従う
航空輸送	/	航空法に定められている輸送方法に従う
輸送の特定の 安全対策及び条件	/	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等の無いことを確かめ転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う
緊急時措置指針番号	/	該当しない

{適用法令}

化学物質排出把握管理促進法	/	非該当
労働安全衛生法	/	非該当
危険物	/	非該当
有機溶剤中毒予防規制	/	非該当
表示対象物質	/	非該当
第57条の2第1項通知対象物	/	非該当
毒物及び劇物取締法	/	非該当
消防法	/	非該当
船舶安全法	/	非該当
航空法	/	非該当

{16. その他}

※ 参考文献

原料メーカー安全データシート

厚生労働省 職場の安全サイト「GHS 対応モデル MSDS」

独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE)・化学物質等安全データシート (MSDS)

独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果データベース

日本界面活性剤工業会 MSDS 作成ガイドラインと主要製品の標準 MSDS モデル

- ※ 記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性がある得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。記載事項は通常の実用を前提としたものです。特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。また、記載内容は新しい知見などにより予告なく改定する場合があります。

記載内容の問い合わせ先

： 郵政石鹼株式会社
電話番号 082-928-0328
FAX 番号 082-928-1010